

四国財務局における多重債務相談の受付状況について 〈令和4年度〉

四国財務局では、借金を抱えてお悩みの方々からの相談に応じるため、専門相談員2名を配置し、多重債務問題の解決に向けた助言を行うとともに、必要に応じて弁護士や司法書士等の法律専門家へ引き継ぎを行っています。

1. 令和4年度の相談件数は70件。

- 相談件数は、前年度（95件）から減少しました。

2. 相談者の内訳は、年齢別では中高齢者、職業別では給与所得者が多数。

- 相談者の内訳をみると、「60代以上」が28.6%、「50代」が30.0%、「40代」が15.7%となっており、これらの世代で74%以上を占めています。
- 職業別では、「給与所得者」が68.6%、次いで「無職（年金生活者を含む）」が21.4%と続いています。
- 世帯年収別の構成比についてみると、100万円未満～400万円未満が62.9%と半数以上を占めていますが、400万円以上の世帯も20.0%あり、世帯収入は低くなくとも多重債務に陥っている状況がうかがえます。

3. 借金のきっかけは、「低収入・収入の減少」が約51%。

- 借入金額の内訳をみると、100万円未満～400万円未満が50.0%と半数を占めています。
- 借金のきっかけは、「低収入・収入の減少」の割合が51.4%と最も高く、次に「商品・サービス購入」が45.7%、「ギャンブル・遊興費」と「住宅ローン等の返済」が14.3%と続いています（「その他」を除く）。

4. 借入れは、クレジットカードのショッピング・キャッシングが35%。

- 借入れ先は、「クレジットカード」の割合（35.0%）が最も高く、次いで「地銀・都銀」「信金信組等」「ネット銀行」などの金融機関（合計26.0%）が続いています。

5. 無料相談会等の案内のほか、必要に応じて法律専門家へ引き継ぎ。

- 当局相談窓口では、専門相談員が助言を行うほか、「無料相談会等」「法テラス」の案内（合計36.7%）や「弁護士」「司法書士」等の法律専門家への引き継ぎ（合計7.8%）を行いました。

カードローン、クレジットなどの借金問題 ひとりで悩まないで相談してください！

多重債務者相談窓口のご案内（相談無料・秘密厳守）

専用ダイヤル（直通）087-811-7801

香川県高松市サンポート3番33号
高松サンポート合同庁舎南館7階

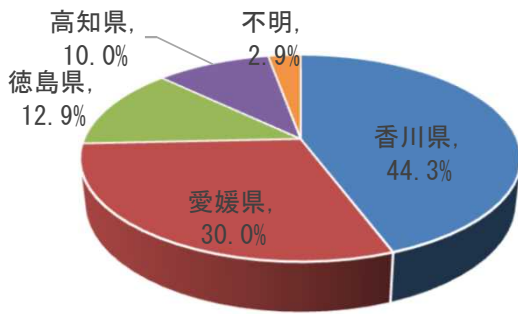
相談受付時間 9時から12時 13時から17時 月曜から金曜（年末年始および祝日を除く）

※ 相談は折り返して伺います。秘密は守られますので、安心してご相談ください。



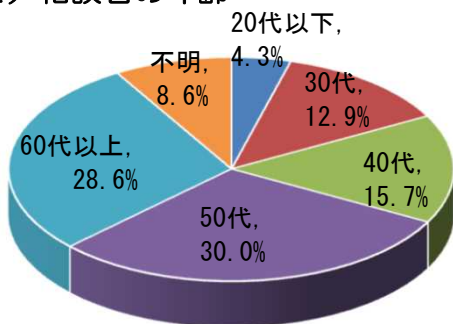
1. 相談者のプロフィール等

(1) 相談者の居住地



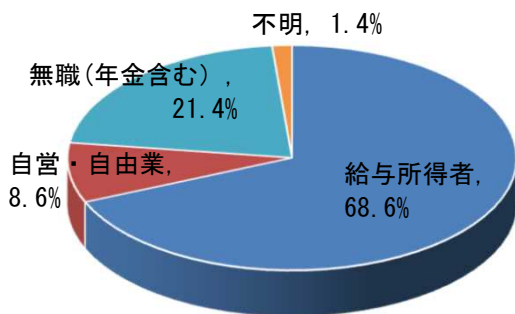
居住地	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
香川県	31	44.3%	43	45.3%	48	50.0%
愛媛県	21	30.0%	27	28.4%	36	37.5%
徳島県	9	12.9%	6	6.3%	3	3.1%
高知県	7	10.0%	14	14.7%	8	8.3%
その他	0	0.0%	5	5.3%	1	1.0%
不明	2	2.9%	0	0.0%	0	0.0%
合計	70	-	95	-	96	-

(2) 相談者の年齢



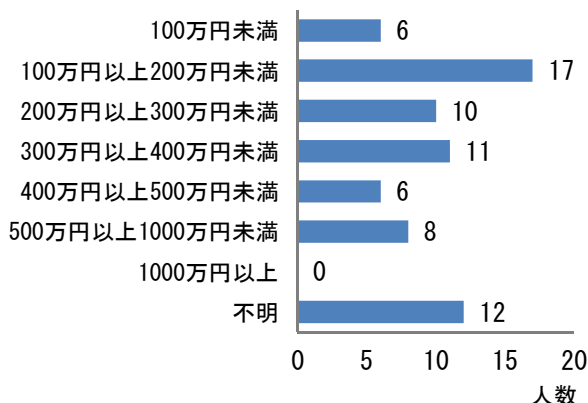
年齢	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
20代以下	3	4.3%	10	10.5%	6	6.3%
30代	9	12.9%	13	13.7%	13	13.5%
40代	11	15.7%	16	16.8%	23	24.0%
50代	21	30.0%	25	26.3%	20	20.8%
60代以上	20	28.6%	20	21.1%	30	31.3%
不明	6	8.6%	11	11.6%	4	4.2%
合計	70	-	95	-	96	-

(3) 相談者の職業



職業	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
給与所得者	48	68.6%	58	61.1%	66	68.8%
自営・自由業	6	8.6%	8	8.4%	9	9.4%
家事従事者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
学生	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無職(年金含む)	15	21.4%	25	26.3%	19	19.8%
不明	1	1.4%	4	4.2%	2	2.1%
合計	70	-	95	-	96	-

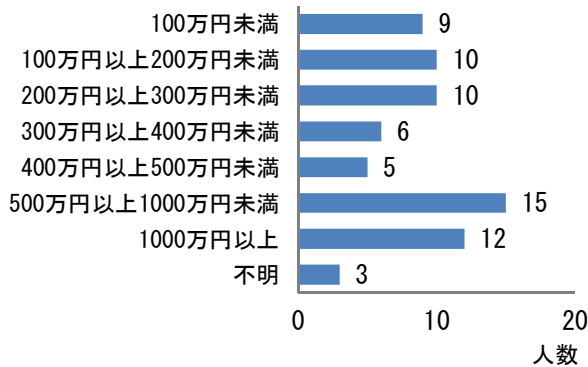
(4) 相談者(世帯)の年収



年収	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
100万円未満	6	8.6%	12	12.6%	7	7.3%
100万円以上200万円未満	17	24.3%	21	22.1%	20	20.8%
200万円以上300万円未満	10	14.3%	12	12.6%	25	26.0%
300万円以上400万円未満	11	15.7%	11	11.6%	11	11.5%
400万円以上500万円未満	6	8.6%	13	13.7%	13	13.5%
500万円以上1000万円未満	8	11.4%	10	10.5%	8	8.3%
1000万円以上	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%
不明	12	17.1%	15	15.8%	12	12.5%
合計	70	-	95	-	96	-

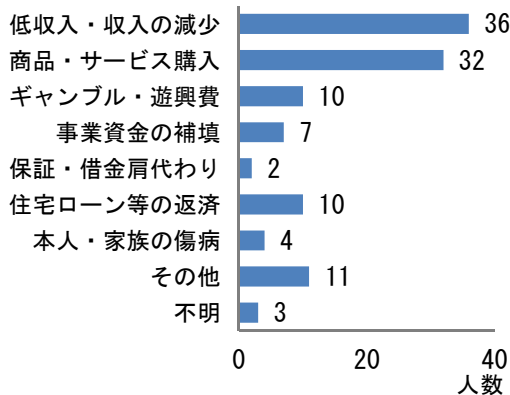
2. 相談内容

(1) 借金の金額



借金の金額	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
100万円未満	9	12.9%	13	13.7%	14	14.6%
100万円以上200万円未満	10	14.3%	17	17.9%	13	13.5%
200万円以上300万円未満	10	14.3%	10	10.5%	14	14.6%
300万円以上400万円未満	6	8.6%	12	12.6%	12	12.5%
400万円以上500万円未満	5	7.1%	5	5.3%	5	5.2%
500万円以上1000万円未満	15	21.4%	19	20.0%	10	10.4%
1000万円以上	12	17.1%	17	17.9%	24	25.0%
不明	3	4.3%	2	2.1%	4	4.2%
合計	70	-	95	-	96	-

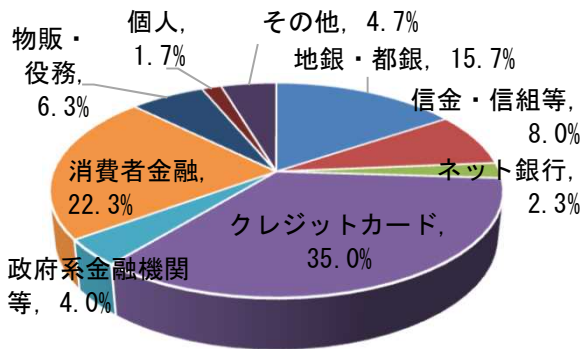
(2) 借入れのきっかけ



借入れのきっかけ	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
低収入・収入の減少	36	51.4%	53	55.8%	60	62.5%
商品・サービス購入	32	45.7%	38	40.0%	42	43.8%
ギャンブル・遊興費	10	14.3%	22	23.2%	30	31.3%
事業資金の補填	7	10.0%	10	10.5%	8	8.3%
保証・借金肩代わり	2	2.9%	6	6.3%	10	10.4%
住宅ローン等の返済	10	14.3%	22	23.2%	7	7.3%
本人・家族の傷病	4	5.7%	12	12.6%	11	11.5%
その他	11	15.7%	18	18.9%	22	22.9%
不明	3	4.3%	10	10.5%	2	2.1%
回答者数計	70	-	95	-	96	-

※複数回答有

(3) 借入先

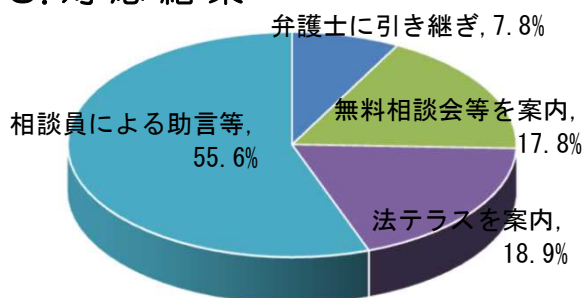


借入先	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	先数	構成比	先数	構成比	先数	構成比
地銀・都銀	47	15.7%	82	17.6%	89	18.9%
信金・信組等	24	8.0%	23	4.9%	24	5.1%
ネット銀行	7	2.3%	9	1.9%	18	3.8%
クレジットカー	105	35.0%	171	36.6%	135	28.7%
政府系金融機関等	12	4.0%	17	3.6%	9	1.9%
消費者金融	67	22.3%	90	19.3%	85	18.1%
物販・役務	19	6.3%	27	5.8%	51	10.9%
個人	5	1.7%	32	6.9%	25	5.3%
ヤミ金	0	0.0%	3	0.6%	18	3.8%
その他	14	4.7%	13	2.8%	16	3.4%
借入先(者)数計	300	-	467	-	470	-

※複数回答有

5

3. 対応結果



対応結果	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	先数	構成比	先数	構成比	先数	構成比
弁護士に引き継ぎ	7	7.8%	3	2.8%	19	17.3%
司法書士に引き継ぎ	0	0.0%	3	2.8%	6	5.5%
無料相談会等を案内	16	17.8%	19	17.6%	10	9.1%
法テラスを案内	17	18.9%	14	13.0%	10	9.1%
相談員による助言等	50	55.6%	69	63.9%	65	59.1%
紹介先数計	90	-	108	-	110	-

※複数回答有

※各頁の構成比の合計は、四捨五入等のため100%にならない場合があります。

4. 相談・対応事例

◆事例1 コロナの影響を受けて経営がきびしくなり返済ができない女性 (債務者40代 美容サロン経営 債務総額 750万円)

【相談内容】

経営している美容サロンの経営がコロナの影響できびしい。さらにネットで知り合った外国人にだまされ借金が増えた上、安易にリース契約した高級車の返済も負担になって、債権者への返済が滞っている。どうしたらいいか教えてもらいたい。

【相談への対応】

相談者の収入等を考えると、自己破産による解決が適切だと思われる。
経済的に余裕のない方向けに、法テラスの「民事法律扶助制度」があり、収入等の要件を満たせば、無料の法律相談と弁護士費用の立て替えもしてもらえると説明したところ、当該制度の利用を希望されたので、法テラスの連絡先を案内した。
後日、法テラスに相談した結果、弁護士に自己破産を委任することとなり、精神的に楽になったと連絡があった。

◆事例2 病気のため就職が困難で借金の返済ができない女性 (債務者50代 無職 債務総額 650万円)

【相談内容】

株式投資の失敗や子に容認していたゲーム課金などの無駄使いで借金がどんどん膨らんでしまった。その上、病気により就職ができなくなったため、今は生活保護の申請をしているが、借金の返済ができない。弁護士に相談したが、無駄使いなので自己破産は難しいと言われてしまい、どうすればいいのかわからない。

【相談への対応】

生活保護の受給が開始されても、借金は返済不能の状態であるため、自己破産で解決するしかないと思われる。当局から居住地近くの弁護士事務所に引き継ぐことも可能と伝えたところ、希望されたので、弁護士に引継いだ。その後、弁護士の助言もあり自己破産をすることになったと連絡があった。

◆事例3 ストレス解消のための買い物の支払いが嵩み借金に苦しむ男性 (債務者：60代 無職 債務総額 180万円)

【相談内容】

早期退職後、リフォーム工場の訪問販売を受けて退職金や貯金を使い果たしてしまった。そのころからストレス解消のため通販で布団や電気製品を購入するようになった。商品代金はクレジットカードで分割払いにしているが、次第に支払いが嵩み、返済のためにフリーローンや年金担保融資を利用することになった。新たにフリーローンの増額やおまとめローンを申し込んだが審査が通らない。今月分の返済ができず、所持金もわずかで食べる物にも事欠く状態だ。

【相談への対応】

年金収入を超える借金を抱えているため、債務整理を検討する必要があるが、自宅を所有しているため自己破産は困難。法テラスと契約している弁護士を案内したところ、弁護士と共に社会福祉協議会に相談に行くことになった。相談者は社会福祉協議会の食糧支援、就労支援を受けながらまずは仕事を探し、定期的な収入を得られるようになってから任意整理を検討することとなった。